

はじめに…

御仏（みほとけ）を造り、お仏具で美しく飾るといふ仏壇店の仕事は今から約1400年前、聖徳太子の時代に始まりました。お仏壇を購入する「時」はご縁によって生まれます。

法要・新築・改築もご縁ですし、巡り来る死もまたご縁となります。

お仏壇は亡き人やご先祖様、そして御仏との語り合いの場所となります。

私たち日本人はそのような場所を家庭内に持つことで、人生の悲しみや苦難を乗り越え希望を持ちながら、幸せを語り続けてきたのです。私どもは皆様の心に寄り添いながら、お仏壇のことを皆様に語りたいと念じております。

仏壇・仏具 たけだ仏壇店

お仏壇って何!? いつ購入するもの!?

■お仏壇って何?… ご先祖様のお祀りと小さな寺院!

お仏壇は小さな寺院とも言われ、その起源のひとつは魂棚（たまだな）にあるとも言われています。小さな寺院と言われるのは、お仏壇の中心にご本尊を安置するからです。

魂棚とは、ご家族や祖父母、さらにはもっと古いご先祖様の魂をお祀りする場所という意味です。それはあなたの命のルーツを教えてくれる場所であり、あなたの命もやがて子孫のルーツになることを教えてくれる場所ともなるのです。



■お仏壇には何を祀りするの?



お仏壇の中心となるのは須弥壇（しゅみだん）と呼ばれる場所で、そこにご本尊をお祀りします。また、お仏壇には亡き人やご先祖様そのものであるお位牌をお祀りします。

そしてお花を生け、火を灯し、香をたき、ご飯やお茶などをお仏壇に供えます。それはご本尊や亡き人、そしてご先祖様と共に生活することを意味し、仏教では「供養する」と言います。

■お仏壇はいつ購入するものなのですか… いつ購入しても大丈夫!

お仏壇はいつ購入されても良いのです。「ご縁がある」という言葉を聞かれたことがあると思います。この「縁」を仏教では大切なものとして考えています。何かが起きることには原因があり、その原因が起ることに原因がある。その繰り返しが「縁」なのです。

お仏壇を購入するタイミングは、例えば近親者の方の死であり、法要の場合もあり、新築や改築の場合もあります。お子様のご結婚を機にお仏壇を購入される方もいらっしゃいます。

■お仏壇は家ごとのもの… 次男、三男のご家庭でもお祀りします!

お仏壇は本家でお祀りするもの、田舎にはお仏壇があるからいらない、とお考えになる方もいらっしゃると思いますが、お仏壇は家ごとにお祀りするものなのです。

お位牌も位牌分けにより、家ごとのお仏壇でお祀りするようになります。

次男、三男の方ですでに家を構えられている方には、お仏壇をお祀りされることをお勧めいたします。

お仏壇を安置する場所・・・

■お仏壇はどこに安置するの？

お仏壇は家のどこにお祀りしなくてはならないという決まりはありません。仏間、和室、居間、寝室のどこでも大丈夫で、お祀りしやすい場所、手を合わせやすい場所にしたいものです。

お仏壇をお祀りする時、正面をどの方角に向ければ良いのかを気にされる方がいますが、方角は気にする必要はありません。なぜなら、諸仏は方角を選ばず、あらゆる方角にいらっしゃるからです。

伝統的には、例えば西向きの方角の場合は極楽浄土の方向となり東向きにすれば陽が昇る方向となり、西向き、東向きは多くの宗教施設が採用している方向です。また南に向ければ、そこは家族の集まりやすい居間やリビングであることが多いでしょう。住宅事情によっても変わりますが、皆が手を合わせやすい場所が良いといえます。



■お仏壇と迷信・・・ お仏壇は幸せの礎となるものです！

お仏壇を購入すると不幸なことが起きる・・・そんな話を聞いたことがありますか？

しかし、それは迷信です！ 不幸は誰にでも起き、死は全ての人に平等に訪れます。

お仏壇はそんな時に心の支えとなってくれる場所です。お仏壇がある日本の家庭は不幸や災害に遭っても立ち直りが早いというアメリカの調査があるほどです。

お仏壇選びのポイントは！

■お仏壇選びのポイント・・・お仏壇選びにあたってまず必要な事は！

①お仏壇をご安置する場所を決めます。

お仏壇をご安置される部屋としては和室、仏間、居間（リビング）などがあります。

ご安置する場所の雰囲気合ったお仏壇を選ぶことは大切なことです。

②お仏壇をご安置する空間の幅、奥行き、高さを調べます。

ご来店時にはサイズをメモしたものをもちいただくと、お仏壇選びがスムーズに進みます。

※裏面のサイズ記入欄にご記入下さい！

③大きさや素材、デザインなどの中からお仏壇をお選び下さい。

お仏壇には様々デザイン、色の違い、大きさの違いなどがあります。

■現代の生活空間にマッチする都市型仏壇・・・

伝統的なデザインのお仏壇に対して、フローリングのリビングなどに安置することをイメージしたすっきりとしたデザインのお仏壇（都市型仏壇）もあります。使われる素材も洋家具で使われる素材などが用いられ、現代の生活空間にマッチするデザインで作られています。

お部屋の雰囲気に合わせたお仏壇選びが出来ます。

当店（慈心院本館内 仏壇展示コーナー）にて展示しております。

お仏壇のある生活…

■お仏壇は語りかけの場…

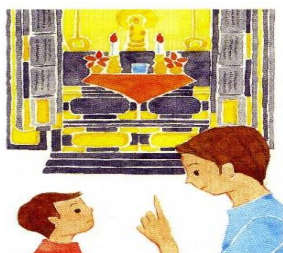
お仏壇の前は語り合いの場所となります。

ご本尊様、ご先祖様、亡き人に語りかける、と言うと不思議な気がしますが、お仏壇のある生活とは、語りかけのある生活なのです。

例えば、今日あったことを亡き父や母に報告する、可愛がってくれた、おじいちゃん、おばあちゃんに嬉しかったことを報告する。悩み苦しんでいる時には心の全てをご本尊に打ち明けてみる。お仏壇のある生活は、人に言えない心の秘密を、そっと打ち明ける場所となるのです。



■お仏壇はお子様やお孫様の教育の場…



お子様がいる家庭の場合、お子様に何かを言って聞かせるときにはお仏壇の前に座ると良い、と昔から言われて来ました。

ご両親がお仏壇を背にしてお子様を叱る。お子様の目にはご両親だけではなく、ご本尊もお位牌も見えています。

つまりお仏壇を背にして座るという事は、ご本尊やご先祖様の力を借りるということなのです。

お仏壇の決定から納品まで…

■購入から納品まで…



お仏壇が決まると納品日を決めていただきます。日取りに関しては大吉（午前中が吉）・先負（午後が吉）などの六曜を基準にされる方もいらっしゃいますし、まったく気になさらない方もいらっしゃいます。（宗派によってこれを否定する場合があります）

なお、お仏壇をご家庭に納める事は慶事となります。

お仏壇をお納めした後に、日々のおつとめのこと、お仏壇の取り扱いや使い方等、ご説明申し上げますので、ご安心下さい。

■開眼供養（かいがんくよう）・入仏式（にゅうぶつしき）

お仏壇がご安置された後に、ご本尊に命を吹き込む儀式である開眼供養を行います。

奈良時代、東大寺大仏が完成した時には、インドから招かれた僧侶が大仏開眼の儀式を行いましたが、お仏壇にも開眼供養を行うしきたりとなっています。

開眼供養にあたっては僧侶をお招きします。

この儀式は入仏式、お魂入れ等、呼ばれることもあります。

※日時等、詳細は菩提寺にご相談・お打合せ下さい。

神棚の祀り方は・・・

■神棚を祀る場所・方角は？

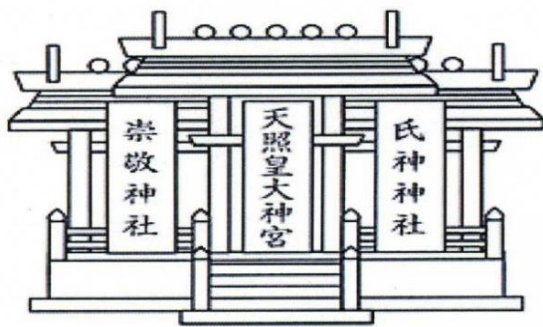
神棚を祀る場所は、明るく清浄な場所で南向き、東南向き、東向きになるように設置してください。見上げる程度の高さに棚板を吊って神棚を設けます。

ドアの上など、人が出入する場所の上は避けるようにします。また、二階のある家では、その上を歩くことになるような場所は避けたいものですが、困難な場合は「雲」や「天」の文字を神棚の上の天井に貼れば結構です。

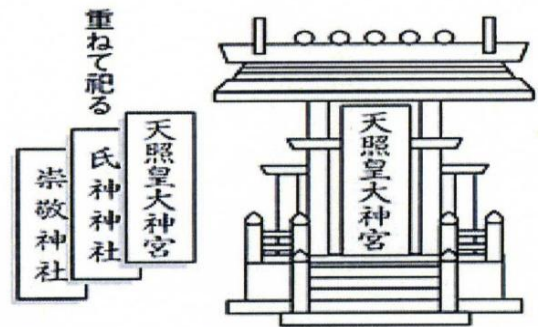
天井から棚板を吊る事が出来ない場合は、本棚や書庫キャビネットの上に神棚を置いて祀ります。

■ご神札の祀り方（ご神札とは、日常言われる「おふだ」のことです。）

神棚には神社から受けたご神札を下記のようにお祀りいたします。



三社宮の場合



一社宮の場合

※お社の中には、神社から受けたご神札(おふだ)のみ納めます。棚の上にはお供え物など、神様に関するもの以外は置かないようにします。

■ご神札（ごしんさつ／お札）や神棚の処分は？

一年間お祀りしたご神札は、お近くの神社で行われる「どんど焼き」行事でお焚き上げいたします。

お守りもご一緒にお持ち下さい。期間は1月7日から15日です。

また、古くなった神棚を処分する場合も、近くの神社でお焚き上げしてもらうのが、一番丁寧な処分の仕方です。神棚のお焚き上げ料の金額はお気持ちで包むと宜しいかと思えます。

■神棚のお参りの仕方は？

神棚をお参りするときは、まず手を清め、口をすすぎます。拝礼の仕方は、2回お辞儀をし、2回拍手（かしわで）を打ち、1回お辞儀をする二礼二拍手一礼（にれい、にはくしゅ、いちれい）です。お水は毎日お供えし、魚介類はじめ野菜や果物など折々お供えし感謝の気持ちを表したいものです。

仏壇・仏具に関するご質問等、何なりとご相談下さい。



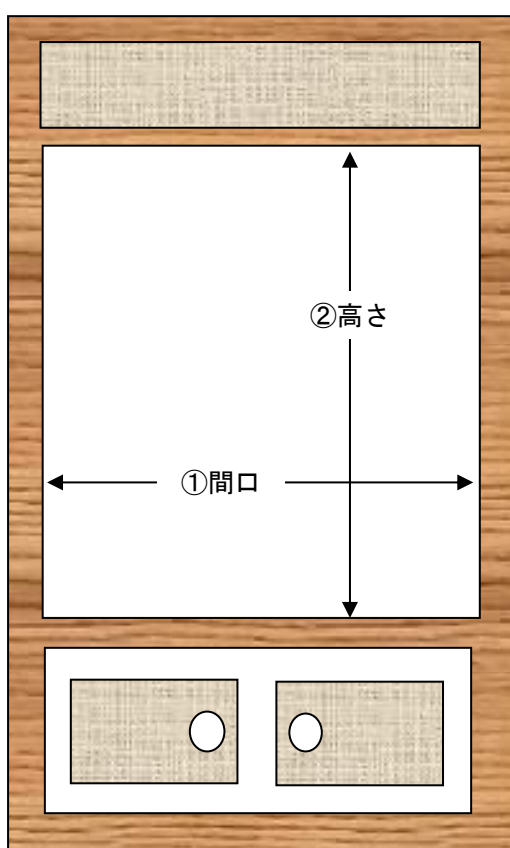
仏壇・仏具 たけだ 仏壇店

TEL 0143-24-3421

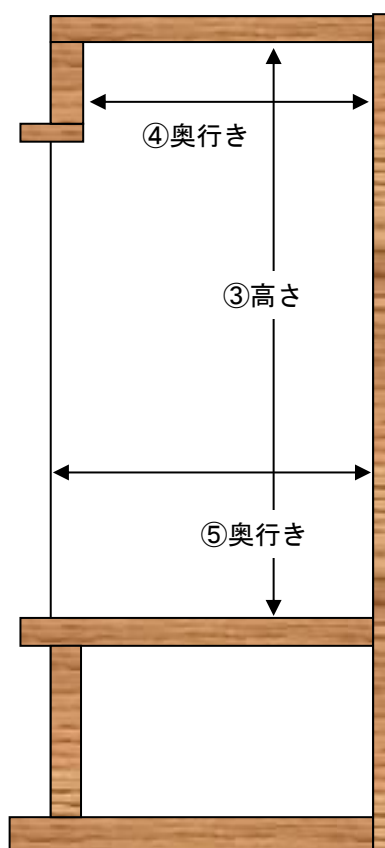
慈心院本館 仏壇展示コーナー



前



横



※事前に仏間の寸法を確認しておきましょう！

①	cm	メモ
②	cm	
③	cm	
④	cm	
⑤	cm	